

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	8	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	企画財政課			
施策	144世界と結びつく国際化の促進	担当課室長	大塚 潤一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	センター機能の拡充(通訳ボランティア制度の魅力アップ、HPの開設、Wi-Fiスポットの設置等)	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	センター機能の拡充(プラザカフェの実施、HPの開設)
②①に基づく取り組み結果	通訳ボランティア制度の魅力アップとして、プラザカフェを年6回実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の外国人及び日本人	意図(対象をどうするのか)	多文化共生社会の実現
②事務事業の概要	平成26年4月にオープンした多文化共生推進センター(愛称:かまがやワールドプラザ)を管理・運営していくもの			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	外国人住民が増加傾向にある中で、今後も外国人の方が暮らしやすいまちづくりに繋がる施策を実施していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	①多文化共生推進連絡協議会会議の開催(年5回)、②ボランティア養成講座の開催(年1回) ③センタースタッフ会議の開催(年9回)、④プラザカフェの開催(年6回) ⑤プラザ通信の発行(平成27年4月及び10月)、⑥センター看板の設置					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 市内外国人数	1,144	1,133	1,248	人	統計かまがや
	ii 多文化共生推進連絡協議会団体数	4	4	4	団体	業務取得
	iii 多文化共生推進センター来所者数	—	3,402	3,435	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	5,533	4,883	金額(千円)	内容	5,518	
	国支出金(千円)		915	プロジェクトマネージャー報酬		
	県支出金(千円)		2,571	非常勤職員賃金		
	市債その他(千円)		932	通訳ボランティア謝礼		
	一般財源(千円)	5,533	4,883		5,518	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	多文化共生推進センターの市民の認知度が低いこと				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	多文化共生社会を実現するための拠点施設として位置付けられているセンターのPRを推進していく必要があるため				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越	
		H26⇒27繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成28年度への繰越額					

平成28年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	総合戦略等策定事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	
政策	41計画の実現のために	担当課室	企画財政課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	大塚 潤一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度のみであるため、前回の評価なし。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度で終了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ケ谷市「人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと総合戦略」	意図(対象をどうするのか)	関係団体等との意見を取り入れ、策定する。
②事務事業の概要	「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、市の人口減少対策やまちの活性化を図るため、平成27年度中に、「鎌ケ谷市人口ビジョン」及びこれを踏まえた「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	国は、平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」を公布し、「長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。また、同法に基づき、各自治体も平成27年度中に「総合戦略」の策定を行った。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	転出、転入、結婚・出産・子育てに関するアンケートを実施するとともに、市議会議員や外部の有識者による審議会等の意見を踏まえ、「鎌ケ谷市人口ビジョン」及び「鎌ケ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年12月28日に策定した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	人口ビジョンの策定	—	—	1	ビジョン	業務取得
	ii	総合戦略の策定	—	—	1	計画	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	0	9453	金額(千円)			内容	0
国支出金(千円)	0	9,453	8,964			人口ビジョン等基礎調査業務委託	
県支出金(千円)	0	0	309			市民意識調査用無作為抽出処理委託	
市債その他(千円)	0	0	177			鎌ケ谷市総合戦略等検討委員会委員報償	
一般財源(千円)	0	0					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	総合戦略に定めた重要業績評価指標(KPI)の達成に向け、進行管理を行っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	「まち・ひと・しごと創生法」では、平成27年度中に総合戦略の策定が求められており、予定どおり策定が完了したため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		平成28年度への繰越額(単位:千円)			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市のブランド化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	企画財政課			
施策	314鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり	担当課室長	大塚 潤一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度新規事業のため、前回掲げた評価なし。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	統一コンセプトに込めた思いの市民等との共有を図っていくためコンセプトブックの作成や、WEBサイトの拡充等の取組みを実施していく。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内外の方	意図(対象をどうするのか)	特に若者世代の人口誘導を図る
②事務事業の概要	人口減少・少子高齢化が進展する中で、市の魅力や特徴等を集約した統一コンセプト等を設定し、積極的なPR等を行うことで、若者世代を中心とした人口誘導を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	全国的に人口減少等が進展する中で、地方創生など各自治体ならではの取組みにより、人口誘導や企業誘致などを進める自治体が増加する中で、本市の魅力等を積極的にPRする方策の1つとして全庁的に実施していく事業と考えられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	平成27年度は公募型プロポーザル方式によりブランディング等の専門事業者を選定し、統一コンセプト等の設定、WEBサイトの開設、首都圏主要駅や鉄道4線でのポスター掲示を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	WEBサイト閲覧数	-	-	1451	件	業務取得
	ii	駅でのポスター掲示箇所	-	-	5	箇所	業務取得
	iii	中吊り広告実施交通機関	-	-	4	社	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	0	10,797	金額(千円)	内容	2,000		
国支出金(千円)		10,797	4,998	コンセプト提案及び			
県支出金(千円)				WEB作成委託			
市債その他(千円)			5,799	広告作成及び掲出			
一般財源(千円)				委託	2,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市外の方への周知を図っていくために、まず、市が「育つまち」に関連する取組みの拡充を図り、そして市民の方と思いを共有し共に取組みを進めていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	最終的な目標となる市外の方の人口誘導を図るためには、平成27年度に決定した統一コンセプト等に込めた思いを市民の方と共有し、共に取組みを進めていくとともに、全庁的に「育つまち 鎌ヶ谷」に関連した取組みの拡充を図っていく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		H26からの繰越		
		H26⇒27繰越				
③達成状況		補正		現年分		
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)					